



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月4日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社東葛ホールディングス  
コード番号 2754 URL <http://www.tkhd.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 俊之  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 高橋 輝 TEL 047-346-1190  
四半期報告書提出予定日 2023年8月7日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,690	4.9	76	△3.7	79	△8.7	51	△8.9
2023年3月期第1四半期	1,611	△2.4	79	9.9	87	16.6	55	21.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 51百万円 (△8.9%) 2023年3月期第1四半期 55百万円 (21.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	10.54	10.08
2023年3月期第1四半期	11.57	11.11

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	7,280	5,004	68.0
2023年3月期	7,387	5,025	67.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,949百万円 2023年3月期 4,971百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	15.00	15.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	0.00	-	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,259	△6.3	185	△11.3	187	△14.3	118	△15.7	24.53
通期	7,290	0.4	415	1.9	424	0.2	269	0.4	55.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	4,840,000株	2023年3月期	4,840,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,701株	2023年3月期	1,701株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	4,838,299株	2023年3月期1Q	4,838,299株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)におけるわが国の経済環境は、資源価格上昇による影響を受けつつも、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症といいます。)の感染拡大時に設けられていた行動制限等が撤廃されたこと、雇用情勢の改善が続いていること等から、個人消費等を中心に緩やかに持ち直しの動きが続く状況で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、半導体等の部品の供給不足による部品納期の遅延や海外における感染症に伴う工場操業停止などの複合的な要因による車両生産減産の影響の度合いがメーカーにより差はあるものの、解消に向かいつつあること等から、当第1四半期連結累計期間の国内新車販売台数は1,069,042台(登録車(普通自動車)・届出車(軽自動車)の合計。前年同四半期比20.3%増)と、登録車(普通自動車)、届出車(軽自動車)ともに、前年同四半期に比べて増加となりました。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

自動車販売につきましては、主に半導体等の部品の供給不足による部品納期の遅延や海外における感染症に伴う工場操業停止などの複合的な要因によるメーカーの車両生産減産の影響により、納期が長期化している状況が継続していること等から、当社グループの新車受注残台数は、感染症の影響を受ける以前の2020年3月末日時点の受注残台数の2.5倍を超える台数となる等、受注台数と販売台数が引き続き大きく乖離する状況で推移いたしました。

新車の販売台数は393台(前年同四半期比5.3%減)、中古車の販売台数は341台(前年同四半期比5.0%減。内訳:小売台数192台(前年同四半期比5.4%減)、卸売台数149台(前年同四半期比4.5%減))となりました。新車販売においては販売車種構成の変化により1台当たりの販売単価が、中古車販売の小売販売においては1台当たりの販売単価が前年同四半期よりそれぞれ増加したこと、整備業務を行うサービス売上も堅調に推移したこと等により売上高は1,668百万円(前年同四半期比4.8%増)となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業において、保険取扱商品の構成の変化による1件当たりの契約単価及び契約件数がともに増加したこと等により売上高は21百万円(前年同四半期比7.3%増)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,690百万円(前年同四半期比4.9%増)となり、営業利益は76百万円(前年同四半期比3.7%減)、経常利益は79百万円(前年同四半期比8.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は51百万円(前年同四半期比8.9%減)となりました。

このうち、売上高につきましては、主に車両販売における1台当たりの販売単価が増加したことにより、自動車販売関連事業の売上高が前年同四半期に比べて増加したことによるものです。

営業利益につきましては、販売費及び一般管理費が前年同四半期に比べて増加したことによるものです。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、上記に加え、前年同四半期には受取保険金を営業外収益として計上したことによるものです。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は3,850百万円となり、前連結会計年度末に比べて94百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が22百万円増加、現金及び預金が112百万円減少したことによるものです。固定資産は3,429百万円となり、前連結会計年度末に比べて12百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が11百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は7,280百万円となり、前連結会計年度末に比べて106百万円減少いたしました。

##### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は1,911百万円となり、前連結会計年度末に比べて88百万円減少いたしました。これは主に短期借入金16百万円、賞与引当金が23百万円、その他の流動負債が32百万円それぞれ増加、買掛金が107百万円、未払法人税等が54百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は365百万円となり、前連結会計年度末に比べて3百万円増加いたしました。これはその他の固定負債が3百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は2,276百万円となり、前連結会計年度末に比べて85百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は5,004百万円となり、前連結会計年度末に比べて21百万円減少いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益51百万円及び剰余金の配当72百万円によるものです。また、自己資本比率は68.0%（前連結会計年度末は67.3%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ112百万円減少し、当四半期連結会計期間末には2,233百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は56百万円（前年同四半期は17百万円の獲得）となりました。これは税金等調整前四半期純利益79百万円から主に減価償却費30百万円、賞与引当金の増加額23百万円、売上債権の減少額27百万円、その他の負債の増加額9百万円、棚卸資産の増加額34百万円、仕入債務の減少額107百万円及び法人税等の支払額82百万円等を調整したものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は0百万円（前年同四半期は5百万円の使用）となりました。これは主に貸付金の回収による収入2百万円、有形固定資産の取得による支出2百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は55百万円（前年同四半期は51百万円の使用）となりました。これは借入金による収入16百万円、配当金の支払額72百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、概ね計画通りに推移していることから、2023年5月12日の「2023年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,346,698	2,233,920
受取手形及び売掛金	956,026	951,889
商品及び製品	545,153	567,662
その他	97,693	97,445
流動資産合計	3,945,573	3,850,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	641,254	634,880
機械装置及び運搬具(純額)	200,643	195,355
土地	2,420,008	2,420,008
その他(純額)	11,011	11,143
有形固定資産合計	3,272,917	3,261,388
無形固定資産	2,070	1,891
投資その他の資産	166,978	166,664
固定資産合計	3,441,966	3,429,944
資産合計	7,387,539	7,280,861
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	556,446	448,814
短期借入金	798,443	815,230
未払法人税等	83,269	28,941
賞与引当金	48,441	72,335
その他	513,471	545,770
流動負債合計	2,000,072	1,911,091
固定負債		
その他	361,707	365,570
固定負債合計	361,707	365,570
負債合計	2,361,779	2,276,661
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	211,085	211,085
資本剰余金	200,496	200,496
利益剰余金	4,560,158	4,538,598
自己株式	△673	△673
株主資本合計	4,971,066	4,949,506
新株予約権	54,693	54,693
純資産合計	5,025,759	5,004,200
負債純資産合計	7,387,539	7,280,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,611,987	1,690,190
売上原価	1,215,031	1,292,954
売上総利益	396,956	397,235
販売費及び一般管理費	317,084	320,335
営業利益	79,872	76,900
営業外収益		
受取利息	115	69
受取手数料	2,223	2,734
受取保険金	5,271	63
その他	824	838
営業外収益合計	8,434	3,706
営業外費用		
支払利息	1,230	1,132
その他	0	—
営業外費用合計	1,231	1,132
経常利益	87,075	79,474
特別損失		
固定資産処分損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	87,075	79,474
法人税等	31,077	28,459
四半期純利益	55,998	51,014
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,998	51,014

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	55,998	51,014
四半期包括利益	55,998	51,014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,998	51,014
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	87,075	79,474
減価償却費	30,640	30,359
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,404	23,893
受取利息及び受取配当金	△115	△69
受取保険金	△5,271	△63
支払利息	1,230	1,132
固定資産処分損益(△は益)	—	0
売上債権の増減額(△は増加)	△20,656	27,154
棚卸資産の増減額(△は増加)	59,695	△34,723
仕入債務の増減額(△は減少)	△69,663	△107,631
その他の資産の増減額(△は増加)	7,496	△2,037
その他の負債の増減額(△は減少)	△30,021	9,018
小計	83,815	26,506
利息及び配当金の受取額	22	22
保険金の受取額	5,271	63
利息の支払額	△1,219	△1,135
法人税等の支払額	△70,170	△82,292
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,718	△56,836
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,840	△2,810
貸付金の回収による収入	2,682	2,682
差入保証金の差入による支出	△257	△106
差入保証金の回収による収入	197	79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,218	△155
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,773	16,787
配当金の支払額	△48,382	△72,574
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,156	△55,787
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△38,655	△112,778
現金及び現金同等物の期首残高	2,095,081	2,346,698
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,056,426	2,233,920

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	自動車販売		
売上高			
新車販売	910,675	—	910,675
中古車販売	258,176	—	258,176
自動車整備	354,751	534	355,285
その他	67,918	19,931	87,849
顧客との契約から生じる収益	1,591,522	20,465	1,611,987
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,591,522	20,465	1,611,987
セグメント間の内部売上高又は振替高	38	43,119	43,158
計	1,591,560	63,585	1,655,145
セグメント利益	117,326	7,618	124,944

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	117,326
「その他」の区分の利益	7,618
全社費用(注)	△45,072
四半期連結損益計算書の営業利益	79,872

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	自動車販売		
売上高			
新車販売	906,334	—	906,334
中古車販売	321,334	—	321,334
自動車整備	375,560	564	376,125
その他	64,999	21,396	86,396
顧客との契約から生じる収益	1,668,228	21,961	1,690,190
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,668,228	21,961	1,690,190
セグメント間の内部売上高又は振替高	180	44,476	44,657
計	1,668,409	66,438	1,734,847
セグメント利益	111,361	11,038	122,400

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	111,361
「その他」の区分の利益	11,038
全社費用(注)	△45,500
四半期連結損益計算書の営業利益	76,900

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。